



大綱米プロジェクト・綱よい

「力持ち集まれ！」

の声にいち早く反応して集まったメンバー
ちょっと細身ですが、やる気十分！

全体をまとめる建元

の声に合わせて、

「うおー！！」

下町の雌綱は、輪になった

POWER

サバグチの部分を力を合わせて撚りをかけていきます。撚りをかけた綱が戻ろうとするのを押さえながら、何度も何度も回します。下町の綱よいは、力自慢が必要です。そこで、パワーの源になったのが、子供達の声援と・拍手♪

お兄ちゃん、
がんばって～

大きな声で何度も応援してくれました。これは頑張らないとね。さらに気合いが入りました。ありがとう。



1月26日、大綱米プロジェクト 綱よいがおこなわれました。室町時代から続く国指定重要無形民俗文化財に指定されている『刈和野の大綱引き』で使われる綱を撚る作業です。

地元の保育園から高校生まで集まり、大綱交流館（上町）とコミュニティセンター前（下町）に分かれて作業をしました。

連携



上町の雌綱は、長い！ゴロゴロ転がして撚りをかけ、3本を編んでいきます。

単純作業なんですけど、編むために何度も綱を持ち上げていたので、腕が限界に…。雌綱よりも14m長く、持ち上げた綱を受け取る連携作業が本当に大変でした。こういった作業の時頼りになるのが、鈴木くん（上写真の茶のブーツ）誰よりも素早く動き、大変そうな人を見ると助けに入ります。よく頑張りました。



下町には、柳葉敏郎さんがいらっしやいました。作業の時は気合いを注入してもらいました。写真をお願いしたところ気さくにに応じてくださいました。ありがとうございました。



5月

田植え

9月

稲刈り

1月

綱よい

2月

大綱引き